

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	道路事業（無電柱化事業）				
地区名	一般県道 <small>おかざきこうたせん</small> 岡崎幸田線				
事業箇所	<small>おかざきしみょうだいじちよう</small> 岡崎市明大寺町				
事業のあらまし	<p>一般県道岡崎幸田線の当該箇所は、岡崎市の中心に位置する名鉄東岡崎駅から、JR岡崎駅を結ぶ区間に位置し、1962年まではこの道路を路面電車が走りJR岡崎駅付近までは「電車通り」の愛称が付けられ市民に親しまれた通りである。さらに、岡崎警察署と県の西三河総合庁舎を結ぶ路線であり、災害時の電柱倒壊による二次災害を防止する必要がある防災上の重要路線である。</p> <p>また、三島小学校の通学路となっているほか、沿道付近には六名小学校、竜海中学校や愛知教育大学附属岡崎中学校があり、朝夕のラッシュ時は、自転車と歩行者が交錯して危険な状態であることに加え、市の中心部を南北に縦断する主要路線にふさわしい良好な景観の創出が求められる地区である。</p> <p>そこで、電線共同溝を整備し歩道上の電柱を地中化することにより、災害時における道路の輸送機能維持による防災性向上や、歩行者等の通行空間を確保するとともに景観性を向上させるものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①地域の防災性強化</p> <p>②自転車・歩行者の安全性確保</p> <p>③良好な景観の形成</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2020年度)	再評価時(1回目) (2025年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2020～2026年度	2020～2029年度	関係機関協議の長期化による事業期間の延伸	
	事業費(億円)	7.0	12.8	下記要因による増額	
	経費内訳	工事費	6.8	11.8	労務費及び資材費の高騰
		用補費	0.1	0.6	支障移転費の増額
その他		0.1	0.4	精査による増額	
事業内容	電線共同溝設置 道路延長 L=0.45km 整備延長 L=0.90 km	電線共同溝設置 道路延長 L=0.45km 整備延長 L=0.90 km		変動なし	
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>・当該箇所は、下記の事由により、電柱共同溝事業の必要性を認める。</p> <p>① 地域の防災性強化</p> <p>当該箇所は、岡崎警察署と県の西三河総合庁舎を結び、災害時には重要路線となるため、電柱倒壊による二次災害の防止を目的とした無電柱化の推進が必要である。</p> <p>② 自転車・歩行者の安全性確保</p> <p>三島小学校の通学路のほか、沿線付近には六名小学校、竜海中学校や愛知教育大学附属岡崎中学校があり、自転車の交通量が多く自転車と歩行者が交錯することがあるため、電柱を地中化し自転車歩行者道を拡げ、歩行者・自転車が安全性を確保し円滑な通行を可能に</p>			

	<p>する空間を創る必要がある。</p> <p>③ 良好な景観の形成</p> <p>当該箇所は市の中心部に位置し、事業区間の北側は電線共同溝の整備済区間であることから、継続して無電柱化を進め、市中心部の良好な景観の創出を図る必要がある。</p> <p>【再評価時(1回目)の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区間(明大寺本町交差点～国立研究所下交差点)においては、2025年度中に完了予定であり、電柱共同溝事業の必要性に変更はない。 <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 変動要因はなし。 																																																																																																																		
	<p>判定</p> <p>B</p> <p>A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p> <p>【理由】</p> <p>第3次緊急輸送道路であり、無電柱化推進計画の第8期計画に位置付けされていることから、事業の必要性があると判断されるため。</p>																																																																																																																		
②事業の進捗状況及び見込み	<p>1) 進捗状況</p> <p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027～2029</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工事区分</td> <td>設計・手続き</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス・水道等の移設工事</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電線共同溝本体工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>当初計画</td> <td colspan="3">4.6</td> <td colspan="3">2.4</td> <td colspan="2">-</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="3">5.1</td> <td colspan="3">1.1</td> <td colspan="2"></td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="3">5.1</td> <td colspan="3">7.7</td> <td colspan="2"></td> <td>12.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>達成率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.45</td> <td>0.2</td> <td>44%</td> <td>0.45</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>7.0</td> <td>6.2</td> <td>93%</td> <td>12.8</td> <td>48%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>6.0</td> <td>5.3</td> <td>88%</td> <td>11.8</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.1</td> <td>0.5</td> <td>500%</td> <td>0.6</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>100%</td> <td>0.4</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】</p> <p>詳細設計まで完了</p>	年度		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027～2029	計	工事区分	設計・手続き	←→									ガス・水道等の移設工事			←→							電線共同溝本体工事				←				→		事業費(億円)	当初計画	4.6			2.4			-		7.0	実績	5.1			1.1					6.2	今回計画	5.1			7.7					12.8		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】	延長(km)	0.45	0.2	44%	0.45	44%	事業費(億円)	7.0	6.2	93%	12.8	48%	工事費	6.0	5.3	88%	11.8	45%	用補費	0.1	0.5	500%	0.6	83%	その他	0.4	0.4	100%	0.4	100%
	年度		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027～2029	計																																																																																																								
工事区分	設計・手続き	←→																																																																																																																	
	ガス・水道等の移設工事			←→																																																																																																															
	電線共同溝本体工事				←				→																																																																																																										
事業費(億円)	当初計画	4.6			2.4			-		7.0																																																																																																									
	実績	5.1			1.1					6.2																																																																																																									
	今回計画	5.1			7.7					12.8																																																																																																									
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																															
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】																																																																																																														
延長(km)	0.45	0.2	44%	0.45	44%																																																																																																														
事業費(億円)	7.0	6.2	93%	12.8	48%																																																																																																														
工事費	6.0	5.3	88%	11.8	45%																																																																																																														
用補費	0.1	0.5	500%	0.6	83%																																																																																																														
その他	0.4	0.4	100%	0.4	100%																																																																																																														
2) 未着手又は長期化の理由	<p>関係機関との協議に不測の日数を要したため。</p>																																																																																																																		

3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 特になし。</p> <p>【今後の見込み】 関係機関との協議に不測の日数を要したが、事業期間を延伸することで、2029年度の完成目指す。</p>	
判定	B	<p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
		<p>【理由】 関係機関との協議に不測の日数を要したが、事業期間を延伸することで、ほぼ計画通りの完成が見込まれるため。</p>
III 対応方針		
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>① 地域防災性 ②自転車・歩行者の安全性確保 ③良好な景観の形成</p>		